学生財務会議出席者各位

作成日　平成２８年５月１日

春日地区新入生歓迎委員会　委員長　大中　悠生

作成者　大中　悠生

**春日地区新入生歓迎事業　事業報告書**

1. **概要**

**事業名称**

　平成28年度春日地区新入生歓迎会（以下、「新歓」とする）

**事業目的**

　新歓委員会は新入生同士、および新入生と上級生の親睦を深め、少しでも新入生の不安を取り除き、よりよい大学生活のスタートを後押しすることを活動目的とする。

**活動対象(活動対象が複数の学類・専門学群をまたぐ場合記載．それ以外は項目削除)**

　筑波大学情報学群情報メディア創成学類新入生

　筑波大学情報学群知識情報・図書館学類新入生

**参加人数**

宿舎入居手伝い

新入生：　　　　　　　　　　　　90名(予定より60名減少)

上級生（含非新歓委員）：　　12名(予定より2名増加)

春日エリアツアー

新入生： 120名(予定より30名増加)

上級生（含非新歓委員）： 25名

レクリエーション企画

　新入生： 130名(予定より10名増加)

　上級生（含非新歓委員）： 27名

キャンパスツアー

新入生： 110名(予定より20名増加)

　上級生（含非新歓委員）： 25名

**主催**

　名称： 平成28年度春日地区新入生歓迎委員会

　代表者： 大中　悠生（情報学群情報メディア創成学類新2年生）

　構成員数（新歓委員）： 52名(2名減少)

**後援**

　紫峰会[筑波大学学生後援会]

1. **詳細**

**・事業日程**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 時刻 | 事業名 | 場所 | 備考 |
| 2016年4月5日 | 8:00~13:00 | 1.宿舎入居手伝い | 春日エリア |  |
| 2016年4月5日 | 15:30~17:00 | 2.春日エリアツアー | 春日エリア |  |
| 2016年4月6日 | 11:00~14:00 | 3.キャンパスツアー | 春日エリア～虹の広場 | 最終目的地を石の広場から虹の広場に変更 |
| 2016年4月9日 | 15:30~20:00 | 4.レクリエーション企画 | 春日エリア |  |

平成28年度春日地区新入生歓迎委員会は『1. 概要　日程』に記載した新入生歓迎事業を行った。以下ではそれらの事業の詳細と問題点・改善策を述べる。

1. **宿舎入居支援**

春日宿舎において宿舎入居支援を行った。リアカーを用意したことや、ベッドの移動など昨年経験した２年生にしかできないサポートなども行え、非常に好評であった。

問題点として、新入生の人数を数えていなかった点とリアカーが汚れていた点が挙げられる。来年度以降は、宿舎入居の新入生の人数を把握しながらサポートを行い、リアカーに関しては事前に状態を支援室に確認することで改善を図る。

1. **春日エリアツアー**

新入生に同期や先輩と交流して親睦を深めてもらうと同時に、今後利用することになる春日エリアの施設を把握してもらうことを目的として、４月５日に春日エリアにおいて春日エリアツアーを行った。施設の説明を通じて上級生と新入生との間に交流が生まれ、また同輩との交流も促進できたと思われる。問題点として、説明内容をそれぞれのグループの担当者に任せていたためグループにより周るスピードに差ができてしまったという点が挙げられる。来年度以降は、ある程度説明する内容を担当者間で事前に決めておくことで改善を図る。

1. **キャンパスツアー**

新入生には一足先に同期や先輩と交流してもらい、親睦を深めつつ筑波大学の地理を把握することを目的として、４月６日に筑波大学においてキャンパスツアーを行った。春日エリア～虹の広場を移動したことにより大学内の多くの施設を紹介でき、また時間をかけて散策することで新入生同士の交流の一助になれたと思われる。問題点として、歩くには距離が多少長過ぎたという点が挙げられるため、来年度以降は、コースの再考を行うことで改善を図る。

1. **レクリエーション企画**

　　　　 新入生同士の親睦を深めることでより良い大学生活のスタートを促進し、

また２年生と交流することで新入生の不安を和らげることを目的として、4月9日に春日食堂においてレクリエーション企画を行った。ビンゴの景品やクイズ大会など、他の企画に比べてコミュニケーションをとるイベントが多く、非常に好評であった。問題点として、受付で人の流れが滞ってしまったという点が挙げられる。来年度以降は、列の作り方やグループの割り振り方を再考することで改善を図る。

* **連絡・広報について**

パンフレットの発行は２月２２日、発送は３月１０日を予定していたが支援室側の手違いにより発送されなかったため４月７日の資料配布の際に同封した。SNSは各企画の前や企画の最中に、その企画の宣伝や現在どのようなことが行われているのかのお知らせなどに利用した。

* **安全管理対策について**

事業中は新入生が怪我に至る可能性のある箇所に注意を払い、また危険な行為が行われないように注意喚起をおこなった。レクリエーション企画後は２年生が新入生をそれぞれの地区まで送迎を行い、安全に帰宅できたことを確認した。他の企画においても春日地区までは必ず送迎する体制が整えられていた。

* **未成年者飲酒対策について**

企画に用いる飲料はすべてソフトドリンクでありアルコールを提供することは一切なく、また企画中は新歓委員が新入生を見守っていいたため、すべての事業において飲酒が行われなかった。

* **新歓の事業報告・決算の公開について**

事業の内容・使われた費用について春日地区クラス代表者会議のホームページにおいて事業報告書・決算書の公開を行う。

1. **総括**

・発足から準備

　今年度は例年に比べ委員長の引継ぎが遅れたため、新歓委員の募集などの初動が遅れてしまい、初期の活動においては後手に回ってしまうことが多かった。幹部が決まってからは新歓に関しては滞りなく行えていたと考える。新入生オリエンテーションについて、五者面談時点では多くのことが未確定で、結局直前に慌ただしくそれぞれの担当者と個人的に連絡を取ることになり最も苦労した。

・事業を行ってみて良かった点・改善点について

　すべての企画を通して新入生の大学生活の始まりの一助になれたと思われる。各企画担当者に企画内容について全てを任せていたため、各企画で様々な点でばらつきが見られた。委員長がそれぞれの企画者の架け橋として働くことができていたら全体予算や、企画以外の人数配置など上手く回すことができたのかもしれない。来年度はそれぞれの担当者とのコミュニケーションを良くとるようにしてもらいたい。

・全体を通して

　事業後には新入生同士、または上級生と談笑したり食事に向かったりなど事業前に比べお互いの心的距離は大きく縮んでいるように見られた。特にそれぞれのツアー企画後はその様子が顕著で来年度もぜひ行ってもらいたいと考える。昨年度と比べ予算規模が大きく縮小したが、昨年度とほぼ同規模の企画が行えたため、会計管理をうまく行うことができた。裏を返せばもう少し予算の使用法に議論の余地があるということなので、同じ企画を行う場合来年度の委員長・会計担当者には改めて精査してもらいたい。